

科目名	倫理学	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
英文表記	Ethics	開講年次	■1年 ■2年 ■3年 ■4年	
			開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	ぜにや あきお	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	銭谷 秋生	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	善く生きるとはどういうことであり、正義にかなった社会とはどのような社会なのかについての倫理学の探究の歴史を理解し、それを踏まえて現代社会の倫理的諸問題について自ら考察できるようになる。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 倫理学が問題とする善や正義についての多様な見方を理解できる。 2. それらを踏まえて、現代において生じている倫理的諸問題を見出し、それらを論理的に考察できる。			
授業概要	「単に生きるのではなく、よく生きることが大切である」というソクラテスの問題提起とともに倫理学は始まりました。しかし「善」とは何であり、それは「正義」とどのように関連するのか。この講義は、倫理学の原初問いを受け止めることから始め、その後の主だった展開を追跡し、現代に生じてきている倫理的諸問題と取り組むための足場を確保するところまで進みます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション ― よく生きることを考えるべき理由			
第2回	ソクラテスの問い ― 善く生きることと「魂を気遣う」こと			
第3回	ソフィストの問い ― 事柄を善らしくみせることができればそれでよいとする論理			
第4回	アリストテレスの正義論(1) ― 刻まれぬ法としての正義			
第5回	アリストテレスの正義論(2) ― 正義の諸相とその問題性			
第6回	功利主義(1) ― 「最大多数の最大幸福」を善とするベンサム立場			
第7回	功利主義(2) ― シンガーによる展開および功利主義の問題性			
第8回	カントの道徳論(1) ― 幸福になることと「幸福に値すること」			
第9回	カントの道徳論(2) ― 定言的命法とその展開			
第10回	ロールズの正義論(1) ― 「原初状態」仮説に基づく正義の二原理の導出			
第11回	ロールズの正義論(2) ― 正義にかなった社会の構造			
第12回	ノージックの正義論(1) ― 根源的権利としての自己所有権			
第13回	ノージックの正義論(2) ― 自己所有権を守るための最小国家論			
第14回	ゲワースの類的権利論(1) ― 類的権利の導出			
第15回	ゲワースの類的権利論(2) ― 類的権利を守るための支援国家論			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 毎回、次回の講義プリントをポータルサイトに掲示しますから、必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(1時間程度) 2. 日ごろから新聞に目を通し、現在どのような倫理的問題が生じているのかを知ってください。(1時間程度)			
履修条件 受講のルール	1. 一つのテーマについて複数回連続で講義しますから、欠席しないようにしてください。 2. 毎回講義プリントをポータルサイトに掲示しますので、欠席した場合は次回まで必ず欠席した回のプリントに目を通してください。			
テキスト	特定のテキストは使いません。毎回、ポータルサイトに掲示する講義プリントに沿って講義していきます。			
参考文献・資料	参考文献として、以下のものを推薦します。 『入門講義 倫理学の視座』新田孝彦、世界思想社(2000)			

	『現代倫理学入門』加藤尚武、講談社学術文庫(1997) その他の参考文献は講義の中で随時紹介します。
成績評価の方法	【質問票(20%)、定期試験(80%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	隔週水曜日13:00~14:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	みなさんはこれまで、「この社会は本当に正義にかなった社会なのだろうか?」といった問いに襲われた経験がきっとあると思います。倫理学は、そのような問いと真正面から向かい合う学問です。一緒にこのような問題を徹底的に考えるという知的冒険をしてみましょう。